

## 非常通信訓練ベース局を運用して

JN3GYJ 藤川幸宏

### 訓練を実施し良かったこと

生駒市役所を中心とする市内各地区とも良好な送受信環境であり、通信困難な局は近隣の局でカバーができたことは良い成果が得られたと思う。

新型コロナウイルス感染対策によりマスク着用での運用だが、地震の場合粉じん等避ける目的もあるため実災害に近い形で運用となった。

訓練当日晴天であったため移動各局とも事故、ケガなく終了できた。

### 改善すべき点

運用周波数について当日変更になったが大きな混乱にはならなかったものの、当初計画の周波数で待機していた局もあり、固定チャンネル化は不適當かと考える。

当局の場合、普段から周辺周波数をサーチ(検索)する癖がついているためあまり気にならない。今回、状況付与計画に基づいて実施され、地震発生時刻は8:30である。すみやかにベース局を開設するまでの間に各局は自宅周辺の状況まで確認する必要があるが、同時に受信できる体制をとるべきかと思う。

第2状況にあるロールコールと自宅及び周辺状況は統合する方が通信の効率化につながる。通常交信と異なる点が多く「クンレン」抜け(ベース局含め)、通信と同時に手書きによる完全な記録は不可能であった。記録及び伝達係は必要(トイレ交代要員としても)。

運用時のブレイクタイム(短い受信待機)がないため至急の割り込み通話ができない。今回ベース局はブレイクタイムを通常交信より長めにとることで落ち着いて通信に集中でき記録及び市対策本部の状況確認が行えた。

アンテナ設置に関して今回は早く設置できたが地震が想定された中で市庁舎屋上及び4階大会議室横バルコニーへ出たのケーブル引き込み作業は危険すぎる。万が一大きな余震がきた際に転落等のリスクはないのかいささか疑問に思う。常設にすることで危険リスクはなくなり素早いベース局開設につなげることができる。

### その他意見、感想

生駒市防災行政無線のバックアップ、補完する目的であれば今回の訓練は非常にハードルが高いものと感じた。

各局の協力があったのアマチュア無線を使った非常通信であるが運用したベース局はプロの通信士と同じレベルぐらい厳しいものであった。

免許証の交付を受けた者は、無線設備の操作に関する知識及び技術の向上を図るよう努めなければならない(令和2年12月14日公布、官報)とありますので日々の活動を通じ自己鍛錬を積もうと思った次第です。

JN3GYJ

以下参加各局からのアンケート情報です。

JH3KHK

状況付与票を p c の奥にしまい込んでよく読まなかった為に自分の番が回って来る時に心臓がバクバクして大変 b f な返答になり大変すみませんでした。 GYJ さんのオペレーション素晴らしかったですよ。

また今後ともよろしくお願いたします。 JH3KHK

・私の感想。 JR3UGN

① 通話方法の統一が出来ればいいと思いました。

・「相手のコールサイン こちらは 自局のコールサイン」のように通信時に使う通話基本パターン作り(各自バラバラな通話手順でなく同じように言えると良いですね。

②通話方法、内容の簡素化

・ 「クンレンクンレン」の 8 文字で(法規上これで問題ない)で通話短縮

・ 電気、水道、ガスをまとめて 「ライフラインは?」、電話やネットを含めて 「通信手段は?」で簡素化。

出来るだけ 1 回の送信時間の短縮化を検討したいですね。

活気よく敏速、リズムカルに出来るように皆で練習すればいいと思います。

IAE 内でも 1 回か 2 回/年の予行演習が出来ればと思います。

今回の一番の反省点は訓練日ではなく前夜のロールコールだと私は感じました。

①ヘルメットの件や「防災意識がない」等の少し誹謗、中傷的な方向に向いた事。(何で今頃?)

②会議中に上からかぶせてヤジ的な送信行為が数局あった事。

本来なら最終確認、打ち合わせのロールコールのはずですが・・・。

OM 各局のご意見は 「正しいが開始十数時間前に言う事かな?」と感じました。

因みに、新参者の私もヘルメットには意識も無く所有もしておりません。

早速、 Amazon で注文したいと思います。

JR3UGN

お疲れさまでした。訓練のアンケートについて送らせていただきます。

JP3LKI

災害はないにこしたことはありません。

しかし何も無いことが続くともう災害は起こらないのでないかというような気持ちになってしまうのが人間なので、そうではないということを訓練によって自分自身に言い聞かす意味でも大切なことであると思っています。

気になった点

1,チャンネルの確保

災害時にはアマチュア無線のチャンネルもが混乱状態になるのでないかと思います。おそらくですが違法無線も多く出てスムーズに繋がらないのでないかと思います。

また、その他自治体も今後検討されると思いますのでチャンネルをどうやって確保するかというのが

課題かと思えます。

## 2,通信の優先度を誰がどのように判断するか

火事がある、けが人がある、早く状況を伝えたいが自分もここにじっとしてられない。

そういった状況のなかでこの非常通信を機能させるためのシステム(ルール作り)をする必要があると思いました。緊急時にはみんながブレイクして伝えたい状況になるのでないかと思えます。

## 3,災害時の移動

今回は車での移動も可ということでしたが実際にはできなくなる可能性が大きいので、実際の訓練もそのようにしたほうが良いと思いました。

以上 J P3LKI 奥村

## 良かった点

実際にベース局にはどれくらいの明瞭度で通信出来るかが確認できたので良かったです。

## 改善点

少し無理があるかも知れませんが生駒を三地区に分けて別々の周波数で運用したらどうかな?と思いました。

一つの周波数では伝えたい事がなかなか順番が来なくて結局は放置なんてなるような気がします。

自己採点

点数はなかなか難しいです。 50 点くらいでしょうか?

以上、宜しくお願いします。

JQ3ATG 川島

## ■訓練を実施(受信)し良かった点

JA3KYX

阪神淡路大震災、東日本大震災などを、リアルタイムに経験した者にとっては、決して他人事とは言えません。

絶対にあってはならないこととは言え、万-に備えることは、重要なことと思います。

近年、携帯電話、インターネットなど、伝達手段は、大きく変わりました。

しかし、電力の供給が、万一滞る事態が起きた場合は、根幹から覆ります。

自治体独自の防災対策はされていますが、アマチュア無線によるネットワークの構築は、最悪のケースの最終手段として、必要不可欠です。

微力ながらも生駒市に対して、我々のネットワークの存在をアピールできたと思います。

## ■訓練で改善すべき点

1. 「状況付与計画」によると、第 2 状況の開始予定時間は、 10:00 であったが、 9:20 には第 2 状況の RollCall が始まり、そのまま、第 3 状況へと進んでいきました。

そのため、未開局の局がありました。訓練開始時間の順守と徹底が望まれる。

2. 26 日夜の確認では、第 3 状況の報告の際、移動する局は、「自宅周辺の被害状況は?」までを報告の

上、指示を受けて、移動にスタートするとの回答をいただきました。

しかし、訓練本番では、シナリオ通りの各局 2 回ずつの RollCall になりました。

状況付与計画にもその旨の記載が望まれる。

3.一部の道路関係の移動局に対しては、移動の指示指令があったが、私の市民体育館や高山 S.C へは、移動の明確な指示指令はありませんでした。

4.シナリオがあったためとは思われるが、第 3 状況、第 4 状況とも、本来ならば、項目ごとにベース局からの「質問要旨」、報告局からの「回答要旨」のキャッチボールがあるべきでは。

5.ベース局が受信困難な場合、サポート局が別の周波数で交信し、ベース局へ報告するという話がありました。しかし、ベース局が受信困難の場合は、ベース局からサポート局に内容を確認することで、複数の周波数の確保は必要なくなるし、報告局への混乱もなくなる。

また、万、ベース局、サポート局の両方とも受信できない場合は、受信できた局を呼び、確認する。

あくまでも、一つの周波数で運用するべきかと思います。

6.周波数については、メイン CH は、432.560MHz としサブ CH を 2-3 波決めておき、万一、今回のような場合でも、アナウンスする必要をなくし、各自で指示を待たずに QSY するようにしてはいかがでしょうか。

今回、周波数の変更を知らなかった局もありました。

7.主幹は対策本部であり、その指示に従い、ベース局が常に主導し、責任と権限を持って、明確に各局へ指示指令を発するべきと考えます。

#### ■良ければ自己採点 (00 点/100 点満点)

初めてのことであり、評価基準も何もありません。当然、相対評価も絶対評価もできません。採点は、ご容赦願います。

果たして、点をつける意味は、どこにあるのでしょうか。一体、100 点とは、どんな姿ですか?。

どうしても評価点を求めるのであれば、生駒市役所の担当者に求めるほうが的確では。

あくまでも、訓練と経験を積み重ね、一つ一つの改善と実績を積み上げて構築を図れば、自ずとあるべき姿になるのではないのでしょうか。

#### ■その他意見、感想

参加メンバーには、いろいろ各自のスタイルがあり、HF をメインにした局、V.U のみの局、コンテストにのみ参加する局、ラグチュー専門の局、ワッチのみの局など多岐にわたります。また、各局のアクティビティの度合いも様々です。

決して強制はできませんが、各局がアクティビティを上げて「アマチュア無線」を盛り上げていかなければ、近い将来、IAE の存続も危惧されます。

メンバーの高齢化も鑑み、生駒市との「協力協定」についても、長期、にわたり責任ある継続対応が、果たして可能であるのか、疑問視されるのでは?。

以上、役員の皆様方のご苦勞も顧みずに、思いつくままに書かせていただきました。

申し訳ございません。お許してください。

よろしく願い申しあげます。

奈良県生駒市西旭ヶ丘 6-60

香 西 嗣人 JA3KYX

TEL 0743-73-8281

JA3RYS

・訓練を実施(受信)し良かった点

1)ポータブル機及びモバイル機で交信の可能性が実証できた。

(移動地が「光が丘」と言うことで「変電所のノイズ」が心配でしたが全くなくて安心しました。又 GP の上っている家が1軒ありました)

2)伝達すべき要点(特に場所の特定(町名番地など)・(損害の程度等)

・訓練で改善すべき点

1)今回の運用地以外で通信の困難な場所を想定し調査しておく。

2)予め被害の発生が予測できる場所(崖崩れ等)を次回の訓練に入れる。

3)非常電源使用での実証(ソーラー&バッテリー)

・参加した方以外でも受信をされて気になった点

・良ければ自己採点(〇〇点/100点満点)

1) 70点 当局は「非常訓練」のアナウンスが少なすぎた感じ?反省しています。

・その他意見、感想

1)何時災害が発生しても良い様に、早期に新規加入者を増やす活動をする。

(2019年11月現在生駒市で局免を受けている局数は266局(一部固定・移動で重複)

現会員数の10倍近い局数が存在する。(数が多い程 詳細な実態が掴める)

2)その他 新規のアマチュア無線局の養成。(広報等で募集)(若手の育成?)

JA3RYS

アンケート返信します。

JE3SRF

・訓練を実施(受信)し良かった点

実際に災害が発生した時の報告すべき内容を的確にまとめ状況を正確に伝えることが如何に難しいかを実感しました。

・訓練で改善すべき点

通信事項をチェックリスト方式にまとめて報告項目を統一する必要があると感じました

・良ければ自己採点(65点/100点満点)

・その他意見、感想

生駒市全域で停電、電話不通を想定した場合、市外局との通信も想定しておく方が良いのでは?

IAEでヘルメットや他必要な防災用品を準備しておく事も検討してはどうか?

以上、個人的に感じた事を記述させて頂きました。

JE3SRF 中島

## JA3AZV

### 1)訓練で良かった点・ . . .

私にとっては初めての参加で「非常通信」の概要が分かり良い経験となりました。

今後も機会があれば参加させて戴きます。

### 2)訓練の改善すべき点・ . . . .

・受信に入った所で「周波数変更」が判らず戸惑いました。

訓練用周波数は状況で常に変更する事を見越して「内部連絡用の周波数」(例 145. 560)を決めておくのも良いのではと思います。

### 3)自己採点・ . . . .

・初めての訓練としては 80 点 (合格点)

### 4)その他・ . . .

・今回は通常時の訓練で全体の流れが判った上での参加でしたのでそれなりの対応が出来ました。実際に災害が起こっている中で同じ対応が出来るか? 疑問です。

(自宅や自分の身を守るのが精一杯ではないかと・ . .)

「ハンディー機等」を身近において置く事に努めます。

取り急ぎ、思いついた点ご連絡しますも

JA3AZV 堅田巖穂

まず 432.56 から 432.58 の QSY の件

JK3 SVX

当日に本部以外で決めましたが結果 NG でした。実際 432.56 をずっとワッチしていた局もありました  
案:運用の周波数は本部が当日試験電波を発射時決定し(基本 432.56)混信があるときにはあらかじめ決めた周波数に QSY することをアナウンス(432.58 54)

同時に、各地区(中継局含む)局に 432.56 から QSY したことを QSP するように指示その後本部は QSY した周波数で運用、

※決め事はすべて本部発信

PS.現場どうしの連絡として周波数を決めるのもいいのでは各地区の移動局(本部が移動を指示した局)に対して移動局入感ありますか? のアナウンスより移動指示した局を呼び出しまず点呼、その後順次報告を受けるようにしたいと思います。

今回 数局パイルアップになって取ってもらえない局は 通信が通じているのかわからない状態で待機しないといけない・ . . .

災害時、危険を伴う場所にいるので少しでも不安を抱かせないように・ . .

私がやったからではないが、中継局の存在をもっとアピールしては通信(情報収集)の安定性の為、バックアップ体制をとっていることを・

オペレーターはさすがコンテスト慣れ無駄な送信事項がなかった

あとは、みんなの意見でいいマニュアルを作って起こってはいけない本番に備えましょう。

JK3SVX

**JH3XAT** 三原さんからメッセージで簡単な意見をもらいました。

以下です。

明けましておめでとう御座います。通信訓練お疲れ様でした! 意見ですが 初めての訓練をされて 予期せぬ事 当日見たいに 使う チャンネルが ふさがってる様な事態が 有るかも? 予備もしくわ 144 メガ 430 メガ 最低でも 確保され 通信内容が 沢山あっても 裁くのが 早くなるのでわ?

本部のコントロールは大変になると思いますが?

もし本当に事が起されば 静な判断ができる様なマニュアル作成が 必要?

後どの程度迄の協力か?など協力者の二次災害等の判断?

色んなマニュアルが必要かも? など考えて 置く事がって 思います!

大した意見でわないかも知れませんが僕が感じた事です。

杉江さん役員の方々にはお世話お掛けしますが!宜しくお願い致します。

**JH3XAT**

**JL3APM** 中村さんのコメントをショートメールでもらいました。

以下です。

実際の災害はなかなか情報が入ってきないのがじっさいです。

強い電波での報告は無いよ、弱い電波のサポートに注意! 皆様、車での移動は避けて歩いての情報報告にして欲しい。

**JL3APM**

**R3BCB** 上野さんからもショートメールで頂きました。

以下です。

おめでとうございます。こちらこそ、お世話になります。先日の通信訓練は、一回目としては、ほぼ満点だと思います。オペレーターの手際よい指示内容に感心した。もちろん、これまでの杉江さんのロールコールはじめ、役所との打ち合わせ、各局とのね根回しが、あつての事は言うまでもありません。この歳になって、40年前の無線の部屋でみんなと QSO 出来るとは、思いませんでした。ありがとう。**JR3BCB**

**JR3CTX** 上野さんからもショートメールで頂きました。

以下です。

明けましておめでとうございます。全てワッチできませんでしたが、初訓練としては、大成功だったと思います。ISOさん等各局のご尽力の成果です。本年も宜しくお願い致します。

**JR3CTX**

JO3QCV 清水さんからもショートメールで頂きました。 以下です。

明けましておめでとうございます。 こちらこそ、お世話になると思います。

2日、藤川さんに、送った感想です。

藤川さんのおちついたオペレーターのリードのおかげで、災害非常訓練良かったです。

周波数は、訓練事前に示された周波数が、使用されていたら、周波数を上げる、下げる。

又は、この周波数に変える等の支持をしていた方がく、訓練にはベータではなかったかと思います。

今後、また訓練がありましたら、参加させて頂きます。ご苦労様でした。ありがとうございます。

藤川さんに以上をメールしましたが、届いたか、どうか分かりません。宜しく JO3QCV

### JH3ISO

1. 予定していた周波数が使用されていたので QSY してもらいましたが、第 1 回の IAE 会議の時には『QRM があった場合は 432.58MH 之又は 432.54MHz に QSY します』との資料もありましたがこれが各局に浸透していなかった。

時々各局に QSP していなかった私に責任があります。

2. 各局からの報告を受信しメモして本部に渡す作業はかなり早い手書きの能力が必要だった。今回、JH3HJD はかなりスムーズに提出出来ていた。

今後どの局が行ってもスムーズに報告メモを提出できる方法を考える必要がある。

(各局からの報告内容を項目ごとに 2 回発声してもらおうと聞き洩らしも少なくなり少し余裕が出来て来る)

3. 今回は IAE だけでしたので受信音はスピーカーで大きく鳴らせて他の二人や市本部の人に聞こえたが総合防災訓練や実際の災害時にはこの大会議場にすべての機関が入るのでスピーカーで鳴らせない可能性がある。

よって出力を分配にして各イヤホンを接続して個別に音量調整出来るような装置が必要。

4. 市本部からの移動指示はかなりダンラムなので早めに移動する事は難しい。

もちろん実際の災害時は規則正しく指示される事はない。

5. 市役所の屋上にアンテナを上げれば、ほぼ生駒市内をカバー出来る事が分かりました。

実際の災害時に設置する事はかなり困難と思われるので、市側にアンテナの常設を考えて頂きたい。

無線機はハンディトランシーバー(3W 以上)で変換ケーブルさえ有れば十分対応できそうです。

JH3ISO

IAE 訓練非常通信をワッチしていて感じた事。 JA3PUY

### 1. 運用周波数の確保が最優先

- ・災害時に決まった周波数で運用するのは不可能に近い
- ・生駒市で震度 6 だと隣接する市町村でも同様に非常通信が行われる
- ・平日日中だとトラックに周波数が占領されかねない
  - 1) 初心に帰って 433MHz の呼出周波数・非常通信周波数で I A E 各局を呼出
  - 2) 応答の有った局で空き周波数を見つけ周波数を確保
  - 3) 応答局間で本部局開設までに現状確認を事前に行う
  - 4) 呼出周波数で定期的にサブ周波数をアナウンス

### 2. 生駒市役所に本部局の開設・運用

- 1) 応答の有った局の中から市役所に移動できる局を決める (出来れば 2 ~ 3 局)
- ・リグや空中線の保管場所を全局に周知している事
  - ・市役所への入館方法、リグや空中線の設置方法の周知
    - 2) 上記 1. 項で確保している周波数で本部局の運用を開始
    - 3) 事前に情報収集していた内容を代表局が本部局に報告
    - 4) 各局は本部局の支持があるまで待機

☆ これ以降は訓練実施内容で問題はなかったように思います。

一般的にみまして、今回「訓練」を強調するべき所 (KF さんが“「訓練非常」を付けるように念を押されていたり) 逆になっていたり欠落していた交信が見受けられました。

以上 今後の活動に生かせればと思います。

JA3PUY

JN3GYJ 様

とりまとめご苦労様です。

急遽決まったことで、項目も難しかったと思います。

とりあえずは下記の項目で、おまとめくださると良いと思います (ありがたいです。)

ただ、感想になってしまいますね。

- ・運用(受信)して良かった点
- ・運用(受信)して改善すべき点
- ・自己採点(〇〇点/100 点満点)
- ・その他意見

以下、J A 3 F N J の回答

1) ・運用(受信)して良かった点

①ベース局の運用は、壱分地点には、信号も強く、オペレータ音声も明瞭でした。

②非常通信としての形態は、初めての体験でした。

2) ・運用(受信)して改善すべき点

① 5W 1H を心得て、簡潔に情報を伝達すること

今回の事前メッセージがあっても、不要な言葉を発していること

いざの時は、現場を的確に表現できること（HAMは通信料がタダの訓練が身につけている）

②滑舌よく話すこと

③地域の現状を日常的に把握しておくこと

④通信の録音を聴いても、訓練のための訓練の域を脱していない情報伝達であったこと

現地調査までの時間が、適切に確保する工夫がいること（ベース局との関係もある）

⑤オペレータが同一局で一貫していた反面、交替の想定は無かったのか。（トイレにもいけない）

これを、今回は訓練だからとするかどうかは、関知しませんが、交替の必要性和多数局の経験確保という視点。

3)・自己採点(〇〇点/100 点満点)

自己評価には、評価基準がないと、正にあいまい主観的な点数になります。

まとめて、平均点出しても意味の無いことですのでご留意。

上記2)を考慮すると赤点です。

※自己採点というのは、「あなたは訓練全体を通じて点数をつけるとしたら、何点？」とは違いますよね。

4)・その他意見

①生駒市との調整が、受け身的であったこと。

生駒市の意図する訓練の様態と I A E の準備に差が見られています。言い換えると、I A E の在り方、それこそ自己評価しなければならないでしょう。

地域貢献の I A E のスタンスは大事なことですが、アマチュア無線でなく、非常通信という以上、防災意識の不足が平素の活動から伴っていないところが見られます。

やってみないと分からないでは、いざの時にどうするのか？（生駒市自身も遅れているといわれるところ）

一番気になった、生駒市のコメントで「職員の動員に比べて、即座に情報収集ができる」というところ、

②日常的な I A E の活動として、防災意識を高めるかということ訓練の繰り返し（訓練のための訓練）で一定の反省はできますが、次回に活かされない事実を多く見てきています。

一つは、「良かった良かった」で終わること、また、「その時はそのとき」で改善を生かす意識が低いこと、などがよくある事例です。

組織は、その長以下階層的に適切な情報をリードして伝える努力が必要なこと。

③これは、平素の課題意識と関係があります。リードというのは、たとえば、I A E の目的を具体的に目標として具体化できるかです。目的と目標は違います。よく混同されたり、逆に理解されています。

「各自の頭の中にあるでしょう」とすると組織は動きません。

④提携の重みを理解すること。

提携を急ぐあまり、I A E の根幹が確立できていないことも散見します。生駒市に役立つことは良いことですが、他の紹介される提携団体は組織的にしっかりできているところと考えます。

⑤マニュアルと臨機応変

簡単にいうと、マニュアル（多くの想定を検証があつて）のうえに、現場の臨機応変があります。

よくある「うまくいった」は、臨機応変のように思われますが、事前の想定でも見いだせなかった事態に対して行う行動です。今回の周波数問題でも、事前に提案のあったサブチャンネルの提案をどのように生かしたかです。意識は訓練を乗り切ることだけに共有されたのでしょうか。

生駒での地震は、近隣も同様だと言うことです。もっとチャンネルが錯綜することが予想されます。こういうことが平時に話し合われて、一定のマニュアル化が必要でしょう。その上で、臨機応変は不可欠です。

#### ⑥顧問への負担

皆さんもお気づきで、J A 3 K F さんに相当な負担をかけていることです。

顧問とは、「顧問は、本会の運営に関して、会の諮問に応じて役員会に出席し意見を述べる事が出来る。」なのですが、ホームページの運営、今回特に資料の整理など、肝心のところをお世話かけました。

私が察するところ、「見かねての活動では」と、あらためて感謝しています。

いろいろ整理されて、役員に照会をされても、根幹につながる反応？はなく、少なくとも、今回の生駒市の資料整理では、負担が集中していることに会長は、適切な対応を考える必要があったと思います。

高齢者（どこからを指すか）でひとくりにできませんが、少なくとも一番年上。

当初、掲示板もできないかと話があり、準備いたしましたが、使いにくさがあったのでしょうか、利用されなくなったので、閉鎖しました。掲示板そのものへの情報アップで無く、玄関TOPページに訪問された形跡も極僅かでした。無線があるからという内容もあれば、紙面画面で情報がアップされないとその役目も果たせないものもあります。

#### ⑥高齢者問題

会長のメディアへのコメントで、記者から「今の課題は？」と問われたのでしようが、ほとんど高齢者を集めて構成した I

IAEで、そこを表現すると元も子もない（身にしみるところです）。

メディアに提供する話題で、こちらの趣旨とは違う視点で文字になることが良くあります。記事になることは広報の意味で大事な対応ですが、今この機会にアナウンスしなければならないことはなにかを事前に整理して臨む必要があります。

何を語れば良いかは、ここでは省きます。

因みに、K F さん、F N J は徒歩で移動しました。地点移動に必要な時間の確保も。二人とも録音を聴くと息が切れをしていました。他のかたは、余裕。

#### ⑦アマチュア無線に逃げないこと

これも、「防災」を前面に出しながら、都合悪くなると、アマチュア無線に逃げないことです。

通信技術と資格を持ったものが、防災活動に特化したそのことを意識して活動を企画する努力を思考したいところ。

I A E と生駒クラブの違いは、そこです。生駒クラブは、従前と変わらなくても何ら問題はなく、I A E がその違いを明確にできるかです。

失礼にあたる内容も含んでいます。厳しい指摘を共有・自覚できるように期待して書きました。

JA3FNJ

JN3GYJ 藤川 様

アンケート収取、有難うございます。

まとめ方でご苦勞が有ると思いますが、役員会全体の意見集約が大切となりますのでご自身の感想をしっかりと書いておいてください。

総合的な状況把握が出来たのは、貴兄一人であったのではと思っています。

遅くなりましたが以下に、JA3KF としての回答を記させていただきます。

当日、ホームでの受信状況から、主運用周波数としていた 432.56MHz に、日曜日に関わらず、コールサイン無発報軍団が集まってくることを感じ、チャンネルシフトのルールを、明確にしていなかったことを残念に思いました。JA3RYS 局からもこの点についての QSP が有り、待機各局同士の対応策の情報交換が有りましたが、当局はやはりベース局の状況を記録しておくことが重要と考え、待機各局にその旨伝え市役所に出かけました。

市役所駐車場到着以降は、既報通りです。

ベース局現場の状況を見ながら、交信状況を聞きながらの印象です。

#### ・訓練を実施し良かった点

ベース局開設には、複数人の参加が絶対に必要と判ったこと。

少なくともアンテナは、市役所で保管してもらい急行したベース局要員が直ぐに仮設できるようにしなければ、即応体制は取れないことがわかった。

訓練とはいえ、災害時と同様にわが身の防災対策をして臨むことが必要である、ことを受け入れ側の市の職員の姿を見て確認できたこと。

特に、主運用周波数が混信の可能性に気付いた、メンバー局同士がベース局開局前に運用可能周波数を確保して、開局と同時に周波数変更を可能に準備してくれたことを上げたい。

実際に、徒歩移動して現場報告する際に、かなりの心拍数上昇が有り、スムーズに状況報告が出来にくいことを体験できたこと。

#### ・訓練で改善すべき点

連絡チャンネルの複数化には実施前にも発言が有り、非常通信実施計画のメンバー局リストの最終欄に追記をしていましたが、結果的にはホームページに上げたまま、連絡できずに終わりました。残念です。今回は、混信に気付いた、待機メンバー局の機転により、無事訓練を終わることが出来ましたが、正式なルール化全員の承認が必要です。(ザーと 2.56 をワッチしていて、最後に QSP によってやっと参加された局が有りました。)

ベース局への、情報伝達の簡潔・明瞭であることの訓練は、まだまだ必要であること。

訓練と言うべきところを、非常と言っていた局があったこと。

情報として必ず必要な、わが身の周辺状況は、各局自身でマニュアル化して、スムーズにベース局に伝えられるようにしておけば、最初の点呼時に基本情報として連絡できるので、時間短縮が出来るのではないかと感じられる。(周辺状況は、調査に時間がかかると考えられるので次回コールで報告すればよい。)

行政側が最も知りたいことが、先ず緊急輸送道路の状況確認と感じた。状況付与票との関係もあるが、実災害時には緊急輸送路に近い局は出来るだけ早くベース局に伝えるよう行動することが望ましいと考えられること。

ベース局には、オペレーターと、情報速記者、災対本部からの依頼をオペレーターに速やかに、適切に指

示が出来る指令役が必要であり、また交代要員が居らなくては長期の運用は不可能と考えられること。

・良ければ自己採点（〇〇点/100 点満点）

谷田一奈良の状況調査報告に、実働した身としては、30 点も無いと思う。（年だー！）

・その他意見、感想

初めての非常通信訓練、アマチュア無線交信とは全然違う、情報交換に多数の協力が得られ、生駒市災対本部側にも好感の表明を受けたことに喜びを感じるとともに、我々はあくまでもボランティア活動であり、自己の家庭迄放棄しての活動は出来ないことを意識して今後の活動を続けられるようにする必要が有ると考えます。

未だ言い残していることもあると思いますが、期限もあり収集も大変と思いますので、この辺でお送りします。                      ご苦勞様・有難うございます。                      To JN3GYJ                      From JA3KF

## 2020.12.27 IAE 非常通信訓練アンケートまとめ

JN3GYJ

### 訓練を実施してよかった点

- ・ 生駒市役所を中心とした市内各所で送受信明瞭度、通信の確保の確認ができた。
- ・ ポータブル、ハンディ機による交信の可能性が実証できた。
- ・ 非常通信による概要、伝達事項の再確認ができよい経験となった。
- ・ 徒歩により移動したが心拍数上昇により、スムーズな状況報告が難しくなることが体験できた。
- ・ IAE 内でネットワークの存在をアピールできたと思う。
- ・ ベース局の運用がすばらしかった。

### 訓練を実施して改善すべき点

- ・ 状況付与表を奥にしまい込んでよく読まずに正しく応答できなかった。
- ・ 通信方法の統一、簡素化、短縮方法の模索
- ・ 通信の優先度を誰がどのように判断するかの基準
- ・ 連絡周波数についてのルール化  
以前の会議資料にもあったが浸透していなかった。
- ・ 状況付与計画に基づく開始時間の順守、徹底
- ・ ベース局から明確な移動指示がなかった
- ・ 項目ごとに質問、回答のキャッチボールが必要
- ・ ベース局が受信できない場合の中継方法の確立
- ・ 本部提出報告書の速記能力が必要。報告メモ等記載事項の簡略化
- ・ 運用オペレーターの複数人確保

### その他意見、感想

- ・ IAE 内での訓練実施
- ・ 日常的な防災意識の向上
- ・ どの程度の協力まで必要なのか？
- ・ 実際の状況であれば車移動不能になるので各地とも徒歩移動にしてはどうか？
- ・ 新規加入者を増やす活動をする。
- ・ 今回運用地以外にも、自宅周辺地域状況を日常的に把握する。
- ・ 訓練シナリオ通りで対応できたが、災害時同じようにできるか心配
- ・ 運用スタイルが違う各局でどう「アマチュア無線」を盛り上げていくか。
- ・ 市全域での停電、電話不通を想定し、市外局との通信・ IAE 内でヘルメット等、防災用品の準備
- ・ ベース局のアンテナ仮設は危険が伴うため、常設できるよう考えていただきたい。
- ・ ポータブルシャックのスピーカー⇄イヤホン切替の増設
- ・ 前日のロールコールでの打ち合わせ不足による意見の相違